

件名：	第5回山口市景観賞（景観づくり活動表彰）の決定について
担当課：	都市整備部 都市計画課 まちづくり推進担当 （電話：083-934-2831）

【山口市景観賞について】

- ・山口市景観賞は、良好な景観形成を推進するための取組の一環として、平成25年から実施しています。
- ・第1回から第3回までは景観写真コンテストを、第4回は景観優良建築物表彰を実施しました。
- ・審査・選考については、山口市景観審議会（会長 鶴心治 山口大学大学院理工学研究科教授）において行っていただいています。

【第5回山口市景観賞について】

- ・第5回山口市景観賞は、「景観づくり活動表彰」として、良好な景観形成に寄与する活動を表彰し、広く情報発信することで市民の皆様の景観づくりへの意欲高揚と活動のより一層の発展につなげていくことを目的としています。**【本市初】**
- ・「まちなみ形成活動部門」「景観資源継承活動部門」「啓発活動部門」の3部門を設定しました。
 - 「まちなみ形成活動部門」・・・地域の景観を向上させるためのルールづくりなどにより良好なまちなみを形成している活動
 - 「景観資源継承活動部門」・・・地域における生活や生業、風土により形成されてきた景観資源の継承活動
 - 「啓発活動部門」・・・景観について考える機会となる学習会や講演会などの啓発活動

【応募概要】（別添 募集チラシ参照）

- ・募集期間
平成29年10月2日から12月1日までの2か月間
- ・応募数
 - まちなみ形成活動部門 1件
 - 景観資源継承活動部門 5件
 - 啓発活動部門 3件

【審査結果】

＜最優秀賞＞

- ・ まちなみ形成活動部門 「亀山公園を愛し育てる会」
- ・ 景観資源継承活動部門 「大殿さんぼ」
- ・ 啓発活動部門 「大内文化特定地域内における景観形成に関する住民活動」

＜奨励賞＞

- ・ 景観資源継承活動部門 「兜山古墳整備」
「行政と協働で進めた近代建築顕彰事業」
「空き家を使った現代美術展」
「自然豊かな小・の景観を守り継ぐ」
- ・ 啓発活動部門 「近代建築や町並みをテーマとした景観啓発活動」
「森林セラピー山口 森の案内人との森林セラピーガイドウォーク」

【第5回景観賞表彰式について】

- ・ 第5回山口市景観賞表彰式及び講演会

日時 平成30年5月26日（土）14時～16時30分
（受付13時30分から）

場所 新山口駅北口駅前広場

（表彰式：2階交通広場デッキ、講演会：中2階交流活動ホール）

内容 表彰式及び講演会

- ・ 表彰式 14時から
表彰団体に表彰状を授与
最優秀賞受賞団体には副賞として、表彰楯を授与
- ・ 景観セミナー 15時から
講演：『地域の価値を紡ぐ景観まちづくり』
講師：九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授
高尾忠志 氏

山口市景観審議会 全体講評

今回、山口市で初めてとなる地域の良好な景観形成に貢献する活動の表彰選考に取り組みましたが、地域特性に応じ、高い意識のもと、創意工夫を凝らした活動が各地域で行われていることを改めて認識しました。

この度は、要項に基づき、3点の最優秀賞を選定させていただきましたが、御応募いただいた活動は、いずれも景観に対する高い意識に裏付けられ、目的が明確で、多様な活動により新たな視点を取り入れることで、景観を守るだけでなく、育てていこうとする点が印象的でした。

このような点を踏まえ、惜しくも最優秀賞に選定されなかった活動に対しては、敬意を表し奨励賞を贈らせていただくことといたしました。

市内全域で、このような活動が住民主体のもと、幅広い視野で進められていることに、山口市民の高い景観意識を感じます。

この度、御応募いただいたような、住民主体の景観づくりと行政による景観づくりが結びついた、協働による景観づくりが今後さらに進んでいくことを期待します。

最優秀賞

まちなみ形成活動部門

『亀山公園を愛し育てる会』

団体名 特定非営利活動法人 亀山公園を愛し育てる会
代表者 坂本 強



山口市景観審議会 講評

山口市中心部を眺望できる亀山公園をまさに愛し育てることを目的として、10年以上の長きにわたり、訪れる人へのホスピタリティの向上につながる活動や様々な啓発活動が積極的に行なわれるとともに、行政との対話等を含めた幅広い活動が高い評価を得た。

最優秀賞

景観資源継承活動部門

『大殿さんぽ』（端午deさんぽ、大殿あかりさんぽ、大殿ひなさんぽ）

団体名 特定非営利活動法人 大路小路まち・ひとづくりネットワーク
代表者 内山 秋久



山口市景観審議会 講評

旧街道筋に残る町家の軒の連なる特性を上手く活用することで、自分の住む地域の魅力や価値を再認識し、将来に向けてまちなみが保全されていくことを目的として活動されており、高く評価できるものである。軒先にこいのぼりのかかるまちなみを、子供たちが楽しげに歩く写真が大変印象的であった。

啓発活動部門

『大内文化特定地域内における景観形成に関する住民活動』

団体名 大内文化街道まちなみ協議会
代表者 小山 哲彦



山口市景観審議会 講評

大内文化特定地域において、行政が進める道路やまちなみ整備について、地域住民が自分たちの住むまちとして主体的に考えるとともに、地域の美しい景観づくりに対して自分たちができることを自ら考え、実践するという姿勢が高く評価された。

奨励賞

景観資源継承活動部門

『兜山古墳整備』

団体名 秋穂二島地区連合自治会
代表者 野島 義正

『行政との協働で進めた近代建築顕彰事業』

～山口県旧県庁舎・旧県会議事堂創建100周年記念事業～

団体名 山口近代建築研究会
代表者 原田 正彦

『空き家を使った現代美術展』

団体名 Do a front(ドゥー・ア・フロント)
代表者 藏田 章子

『自然豊かな小鯖の景観を守り継ぐ』

団体名 小鯖地域づくり協議会
代表者 徳重 忠治

啓発活動部門

『近代建築や町並みをテーマとした景観啓発活動』

～子どもから大人まで、みんなで景観を感じよう！好きになろう！～

団体名 特定非営利活動法人 まちのよそおいネットワーク
代表者 原田 正彦

『森林セラピー山口』

森の案内人との森林セラピーガイドウォーク』

団体名 森林セラピー山口 森の案内人の会
代表者 湯川 忠彦